

審議会会議録要旨

| | |
|-------|--|
| 会議名称 | 伊那市環境審議会 |
| 日 時 | 令和元年 07 月 25 日（木） 午後 3 時 00 分から午後 5 時 15 分まで |
| 場 所 | 上伊那クリーンセンター |
| 出席者 | 委員 9 名（欠席者 3 名） 事務局 6 名 |
| 会議進行等 | 1 開 会 （中島生活環境課長） 2 委嘱書交付 （2 名） 3 あいさつ （細田会長） （伊藤市民生活部長） 4 協議事項 （進行：細田会長） （1）水資源採取施設に係る報告について（3 件） （2）伊那市環境基本計画進捗状況（平成 30 年度末）について （3）伊那市環境報告書（平成 30 年度環境調査実績）について （4）伊那市環境基本計画（改訂版の骨子）について 5 その他 6 閉会 （中島生活環境課長） |

【議事要旨】

○午後 3 時から午後 3 時 40 分まで上伊那クリーンセンターの視察を行う。

4 協議事項

(1) 水資源採取に係る申請について

事務局より、水資源採取施設の申請（3 件）について、根拠条例等及び許可等に係る一連の説明を行う。

(委員) 排水に関する対応はどのように考えているか。

(事務局) 排水の対応は、法令等で定める範囲で行っているものと考えている。

【付帯意見：なし(3 件とも)】

(2) 伊那市環境基本計画進捗状況（平成 30 年度末）について

事務局より、指標及び目標の達成状況について説明

(委員) 電力量の把握ができなくなった背景とは何か。
(事務局) ○電力会社は、電力の自由化に伴い、電力量開示の行為が自社の戦略（売電・買電等）への支障となることが予想されたため、非開示とした。
○CO2 排出量の算出には、市内販売分のガソリン等も根拠としていたが、ガソリンの販売場所と使用場所の不一致による算出値の不確実性の課題等により、独自算出を止めることとした。

(委員) 把握が困難であるが、今後の見解は。
(事務局) 別の方法を検討していく。
(委員) 現実的に比較不可能な指標等は、削除することも検討すること。

(委員) 伊那市環境基本計画の目標は、“◎○△×”と言った文字評価であったが、数字（指標等）による目標設定が必要と思われるが見解は。
(事務局) 今後の計画策定において検討していく。

(委員) 新規就農者・空き家バンクの実績数について、現況の状況は。
(事務局) 現況数を確認する。

(委員) 可燃ごみの範囲が変更になり、リサイクル率が減少するのでは。
(事務局) 平成 30 年度は 17.60%、平成 29 年度は、17.70%であり、横ばいであった。
上伊那クリーンセンターの稼働に伴い、今後、組成の変化は生じるものと考えられる。

(委員) 現在、市が行っている小学生対象のエコツアーは、学校の判断による選択制であるが、市として推し進めていく考えはいかがか。
(事務局) 環境教育は重要な項目であるので、内容を検討し、第 2 次環境基本計画に盛り込んでいく。

(事務局) 伊那市環境基本計画の総評について説明

(3) 伊那市環境報告書（平成 30 年度環境調査実績）について
事務局より、説明する。

(4) 伊那市環境基本計画（改訂版の骨子）について
事務局より、説明する。

(委員) 数値目標が設定しにくい目標もあるが、指標（評価指数）について工夫をすること。

(事務局) 分かり易い内容・計画を目指す。

5 その他

- ・環境基本計画（改訂版）は、11月頃諮問、翌1月答申の予定としている。（11月頃、パブリックコメントの実施を計画）